



東京大学グローバルCOEプログラム

ゲノム情報に基づく先端医療の教育研究拠点

オーダーメイド医療の実現と感染症克服を目指して

GCOE 特別セミナー
＜キャリアパス支援セミナー＞
企業・団体紹介シリーズ

白金キャリア プラットフォーム

第10回



2012年 6月20日(水)

15:00 - 17:15

東京大学医科学研究所 1号館講堂

参加無料・事前登録不要

ショートレクチャー

■「世界・日本の人口トレンドとグローバル医療課題 - その1」

山川彰夫 東京大学医科学研究所 学術アドバイザー長 特任教授

■「グローバル薬剤開発の最新動向と臨床統計学の役割」 (仮題)

竹内正弘 北里大学薬学部 臨床医学(臨床統計学・医薬開発学)
教授

■「新薬の開発から市販後まで - 企業内医師の経験 - 」

植田英治 ファイザー株式会社 オンコロジー事業部門
メディカル・アフェアーズ統括部 統括部長



Working together for a healthier world™
より健康な世界の実現のために

ファシリテーター：三浦 有紀子 東京大学男女共同参画室 推進ディレクター

山川 彰夫 東京大学医科学研究所 学術アドバイザー長 特任教授

世話人：山川彰夫 学術アドバイザー長 特任教授、長村文孝 先端医療開発推進分野 教授、附属病院医療安全管理部 部長

東京大学医科学研究所&先端科学技術研究センターGCOE <http://www.ims.u-tokyo.ac.jp/gcoe/index.html>

問い合わせ先：東京大学医科学研究所GCOE推進室 Email: gcoe@ims.u-tokyo.ac.jp TEL: 03-6409-2028

東京都港区白金台4-6-1 (東京メトロ南北線・都営地下鉄三田線白金台駅2番出口から徒歩3分)

【概要】

東京大学医科学研究所&先端科学技術研究センターのグローバルCOE プログラム (GCOE) では、ミッションの一つであるグローバルな医療課題に対して取り組むことのできる世界的な広い視野を持った多様な「人財」育成の一環として、キャリアパス支援セミナー「白金キャリアプラットフォーム：(企業・団体紹介シリーズ)」を開催しています。

今回の第10回では、ファイザー株式会社のオンコロジー事業部門 メディカル・アフェアーズ統括部 統括部長の植田英治先生より、ファイザー株式会社の研究開発の方向性に加え、「Working together for a healthier world (より健康な世界の実現のために)」のモットーの元、世界をリードする研究開発型の製薬企業として、世界各国に展開しながらグローバル開発に取り組むファイザー社の企業活動についてご講演頂きます。

植田先生は東京大学医学部をご卒業され、医学博士号取得、外科系の臨床に従事後、製薬企業の研究・医薬開発・医事等の業務に転じられ、現在は抗がん剤などの開発・販売の統括の業務に携わっておられ、製薬企業内での多様な部門でのご経験も豊富です。

ファイザー株式会社は、1849年にチャールズ・ファイザーらによってアメリカにて創業されました。現在では2011年の売上高674億USドル、事業収入87億USドル、従業員数10万3千7百人という世界最大規模の多国籍製薬会社として活発かつグローバルな活動を行っています。当初は抗寄生虫薬サントニンやクエン酸などの新薬発明・開発、南北戦争当時に北軍側への医薬品提供などを手掛けて成長を続けました。20世紀に入り、第二次世界大戦時に発酵技術を利用してペニシリンの大量生産に成功し、1940年代後半にはテトラサイクリン系の抗生剤の研究開発にも成功、発展を遂げました。その後、独自の研究開発に加え、世界展開を図り、1980年代以降は業界をリードするM and A戦略展開とブロックバスター開発戦略に成功しました。高脂血症薬・抗うつ剤・カルシウム拮抗剤や抗ED・肺高血圧治療薬を始めとする多くの革新的な医薬品の創薬研究・開発と高品位医薬品の開発・製造・販売、多彩なCSR活動などを通じて、現在に至るまで世界に貢献を続けています。近年では、肺がんに対するALK阻害剤など新規分子標的薬に加えて、内服できる禁煙補助薬であるニコチン受容体partial agonist-阻害剤などを通じて疾病予防にも寄与する新薬等を市場に提供し、「人々の医療に対する考えも、いままでの受身的な姿勢から、自分の健康は自分で守るといった積極的な姿勢へと転換し始めた」現代にあって、「豊かな長寿社会」の実現に向けて、「グローバルな研究開発体制から生み出される革新的な医薬品の提供を通じ、人々のより豊かな健康と暮らしに貢献すること」をミッションとされています。

ご講演は、製薬企業内医師としてのご体験に裏付けられたお話を、学生、若手研究者へのメッセージも含めてお願いしています。

また、アカデミア側からのキャリアパスに関する基礎的なリテラシーに資するレクチャーとして、はじめに世話人より「世界・日本の人口トレンドとグローバル医療課題 -その1」と題したショートレクチャーを、今回の2つのご講演に関連する内容で行います。その後に、各種薬剤開発には必須の学問であり有用なツールである「臨床統計学」の権威でおられ、医科研の治験審査委員会のメンバーとして医科研附属病院における治験-TR-臨床研究活動支援に御協力を頂いている、北里大学薬学部臨床医学(臨床統計学・医薬開発学)教授の竹内正弘先生に「グローバル薬剤開発の最新動向と臨床統計学の役割(仮題)」についてご講演いただきます。世界の中で日本が置かれている立場や今後の政策的提言についてもお話しいただける事を予定しています。

白金キャンパスの学生・若手をはじめとする研究者・医師・医療スタッフの他にも、東大他部局や学外のアカデミア・産業界・行政・メディア、その他のご所属の学生および社会人などの多様な方々のご参加を歓迎いたします。事前の質問要望があれば世話人宛てにお願い致します。

(文責：世話人 山川彰夫)